

2026 4

卯月 April
令和8年 丙午

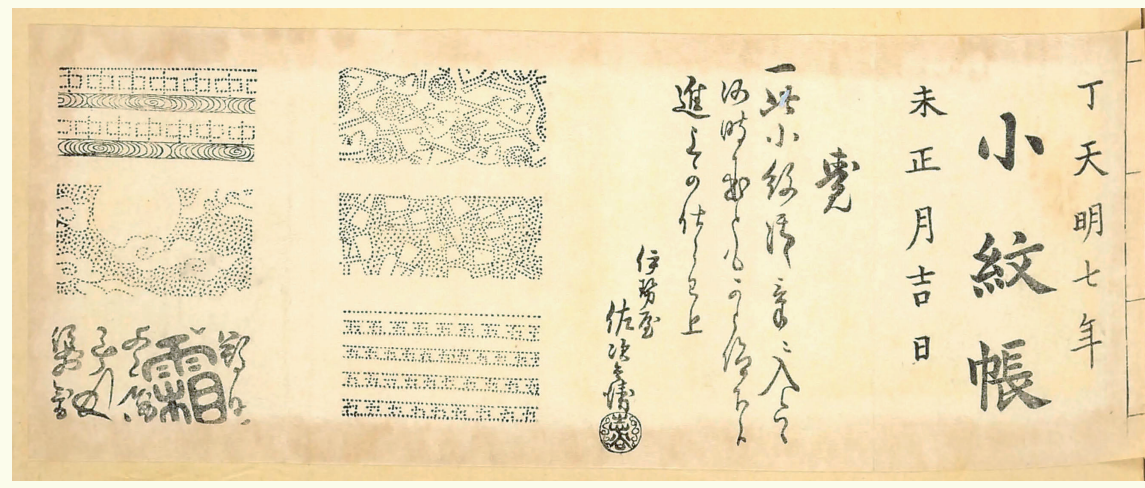
神武紀元2686年 平成38年 昭和101年
大正115年 明治159年 イスラーム暦1447年

こもんちよう 小紋帳

小紋の端切れが貼られた帳面を模した引札(チラン)の大小。端切れの柄で天明七年(1787)の月の月を表している。右側上段は狐の面と太鼓で稲荷神社の初午を想起させるため二月、中段は雛人形の柄で三月、左側中段は中秋の名月で八月、などとなっている。

文を書き下すと「一、此小紋御氣に入り候はば、何時成とも仰せ下さるべく候、進上仕るべく候、已上 伊勢屋佐次兵衛」となる。天明年間には『京伝工夫小紋裁』(山東京伝著、天明四年刊)に見られるように小紋が流行していた。

大小の並びは以下の通り
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二
大 小 小 大 小 小 大 小 大 大 小 大



日 Sunday	月 Monday	火 Tuesday	水 Wednesday	木 Thursday	金 Friday	土 Saturday
第14週  清明 /せいめい 旧暦3月、辰の月の正節で春分後15日目にあたり、新暦4月5日頃である。清明は「清浄明潔」を略したものといわれ、春先の清らかでいきいきとした様子をいったものである。	 穀雨 /こくう 旧暦3月、辰の月の中気で、新暦4月20日頃である。この頃は、春雨のけむるがごとく降る日が多くなり、田畑を潤してその生長を助け、種まきの好機をもたらす。	灌仏会(花まつり) 東アジアの仏教では釈迦の誕生日とされる4月8日に灌仏会(かんぶつえ)をおこなう。一般には天上天下唯我独尊のポーズをとる金剛の誕生仏に甘茶をかける習慣がある。そのいわれは、釈迦がカピラ城で生まれたとき、天から九龍が降りてきて香水を注ぎ、地下より蓮華が湧き出て足を支えたという故事にもとづいている。灌仏会は花御堂の水盤でおこなわれるため、花まつりの別名で親しまれている。	1 先負 新年度 旧二月十四日	2 仏滅 二月十五日	3 大安 二月十六日	4 赤口 二月十七日
第15週 5 先勝 イースター(西方教会)	6 友引 二月十九日	7 先負 二月二十日	8 仏滅 灌仏会(花まつり) 二月二十一日	9 大安 二月二十二日	10 赤口 鴻雁北(こうがんかえる) かりが北へ帰っていく 二月二十四日	11 先勝 二月二十四日
第16週 12 友引 イースター(東方正教会) 二月二十五日	13 先負 二月二十六日	14 仏滅 三りんぼう 二月二十七日	15 大安 虹始見(にじはじめてあらわる) 虹が見え始める 二月二十九日	16 赤口 二月二十九日	17 先負 土用入り 三月一日	18 仏滅 三月二日
第17週 19 大安 旧ひな祭り 三月三日	20 赤口 穀雨 霞始生(あしはじめてしょうず) あしが生え始める 三月五日	21 先勝 三月五日	22 友引 アースデー(地球の日) 三月六日	23 先負 三月七日	24 仏滅 三月八日	25 大安 霜止出苗(しもやみてなえいずる) 霜が止んで苗代で稲の苗が生長する 三月八日
第18週 26 赤口 三りんぼう 三月十日	27 先勝 三月十一日	28 友引 三月十二日	29 昭和の日 先負 三月十三日	30 仏滅 牡丹華(ぼたんはなさく) ぼたんの花が咲くようになる 三月十三日	アースデー(地球の日) 約5億人が参加する世界最大の環境イベント。あらゆる立場の違いを超えて、地球環境を守るために行動する日のことである。1970年、米国ウイコンシン州選出のG・ネルソン上院議員の宣言により誕生した。	イースター キリストの復活祭のこと。移動祝日で、春分後の最初の満月の次になる日曜日と定められている。グレゴリオ暦とユリウス暦とは異なり、カトリックやプロテスタントの教会と東方正教の教会とは祭日がずれることが多い。しかし、復活の象徴として卵が使われることは共通している。